

## 製品構成

製品名	内容
基本パッケージ (AWP Model100~ Unlimited)	Web上のHTML/PDF/Flashコンテンツを保護します。ご利用人数に合わせて製品を用意しています。
ポリシーサーバ オプション	Webコンテンツの保護を、ページ/フォルダ単位だけでなく、ユーザ/グループ単位でも設定できます。
Office保護オプション (Model100~ Unlimited)	Webシステム上で公開するMicrosoft Officeファイル、ダウンロードすることなく、ブラウザ上で保護できます。 ※本オプションは、社内イントラネット利用向けです。

## 保護対象ファイル

- HTML(画像/フレーム/JavaScript/css)  
※主なファイル形式:HTML/PNG/BMP/GIF/JPEG/TIFFなど
- Adobe PDF
- Adobe Flash
- Adobe Shockwave
- Movie ※ただしHTML内に表示されるよう指定されている場合
- Officeファイル ※別途「Office保護オプション」が必要です。

## 動作環境

最新の動作環境はWebサイトでご確認ください。

サーバ	
■AWPサーバ	
対応OS	●Microsoft Windows Server ●Microsoft Windows ●Linux
CPU/メモリ	お使いのOSが動作する環境以上
ハードディスク必要容量	5MB以上の空き領域が必要 (ログ/データベースを除く)
Java	Javaが動作する環境

※すべて日本語環境のみに対応しています。

## クライアント

### ■復号・表示アプリケーション

対応OS	●Microsoft Windows
CPU	お使いのOSが動作する環境以上
メモリ	64MB以上(128MB以上を推奨)
ハードディスク	インストール時に2MB以上
ブラウザ	●Microsoft Internet Explorer
PDFファイルの表示	●Adobe Acrobat ●Adobe Reader
SVGファイルの表示	●Adobe SVG Viewer
Flashファイルの表示	●Adobe Flash Player
Shockwaveファイルの表示	●Adobe Shockwave Player
動画ファイルの表示	●Microsoft Windows Media Player ●QuickTime
Officeファイルの表示	●Microsoft Word ●Microsoft Excel ●Microsoft PowerPoint

※各国語OSで動作します。ただし、日本語以外のOSでは英語でのメッセージ表記となります。

※「AWP View Control」のインストールを行うにはMicrosoft Windowsの管理者権限が必要です。

※Microsoft Officeファイルの保護は、「Office保護オプション」を購入された場合のみ可能です。

オプションの動作環境はWebサイトでご確認ください。



文書ファイルの情報漏洩対策に  
**Pirates Buster for Document**  
手元を離れたファイルの利用権限をコントロールします



Web文書ファイルの情報漏洩対策に  
**Pirates Buster for WebDocument**  
Webシステム上のファイルがダウンロードされる時に自動的に保護します

製品詳細、オプションなどについては、Webサイトをご覧ください。

※Pirates Busterは、株式会社トリニティーセキュリティシステムの登録商標です。

※Microsoft、WindowsおよびWindowsロゴ、SQL Serverは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

※記載された会社名、製品名などは、各社の登録商標もしくは商標、または弊社の商標です。

※本紙に掲載されている内容は、改良のため、予告なくデザイン・仕様を変更することがあります。

## 株式会社 ティエスエスリンク

www.tsslk.jp

情報サイト **www.pb-security.jp**

お問い合わせ info@tsslk.jp (もしくは以下のTELまで)

〒770-8053 徳島県徳島市沖浜東3-46 Jビル東館4F

TEL:088-602-0170 FAX:088-602-0172

2012年5月現在 第6版 pbawp-tl-06

製品に関するお問い合わせは

## Webコンテンツ保護システム

# Pirates Buster<sup>®</sup> for Active WebPage

バイレーツ・バスター・フォー・アクティブ・ウェブページ



## ブラウザに表示されるHTML/PDF/Flash/Officeファイルを保護

- ブラウザのメニューやキー操作を制御することで、印刷/コピー/ダウンロード(保存)による情報漏洩を防止します
- 利用者は特別な意識をすることなく、今まで同様にブラウザを利用できます
- Webシステムのサイト構成に合わせて設定でき、運用が簡単です
- 通信経路やキャッシュも暗号化され、不正取得を強力に防止します
- お使いのWebシステムを改変することなく簡単に導入でき、導入コストを軽減します

内部統制、情報セキュリティマネジメント対策に

**J-SOX法**  
対策に

**ISO27001 (ISMS)**  
の取得/運用に

**プライバシーマーク**  
の取得/運用に

# Pirates Buster for Active WebPage(略称:AWP)は、 Web画面に表示される情報を保護します

現状

AWP導入後



**Webシステムには  
情報漏洩リスクが内在**

多くの企業では、情報共有や業務システムに、WebアプリケーションをベースとしたWebシステムが利用されています。Webシステムでは、売上情報や顧客情報など多くの重要データが扱われ、情報漏洩リスクが内在します。

**AWPを導入すれば  
安全なWeb環境で業務を運用**

AWPは、ブラウザ画面の印刷/コピー/ダウンロード(保存)を利用制御して、画面に表示される情報の二次利用を防止します。お使いのWebシステムに組み合わせて簡単に導入/運用でき、効率よく社内セキュリティが構築できます。

## AWPの5つの利点

**1 静的HTMLだけでなく  
動的HTML/PDF/Flash/  
Officeも保護**

AWPは、静的HTMLだけでなく、JavaScript/ASP/PHPなど、サーバサイドスクリプトにより動的に生成されるHTMLにも対応しています。会員情報の登録画面や、顧客の購買履歴画面、有料の検索結果画面なども保護できます。また、ブラウザに表示されるPDF/Flash/Officeファイルも保護できます。  
※Officeファイルの保護には、別途「Office保護オプション」が必要です。

**2 通信経路上やキャッシュも  
暗号化され強力に保護**

AWPサーバと利用者間の通信を暗号化でき、SSLを利用しなくてもパケットキャプチャソフトなどからの情報漏洩を防止します。また、ブラウザのキャッシュは、通常ではHTMLデータが保持されて簡単に取得されますが、AWPではキャッシュ内のデータも暗号化し安全に守ります。

**3 利用者は今まで同様に  
ブラウザで利用できる**

利用者が、AWPで保護されたコンテンツを利用するときに、特別な意識は必要ありません。今まで同様にブラウザを利用するだけで、ブラウザのメニューやキー操作が自動的に制御され、不正利用を防止します。

**4 Webシステムのサイト構成に  
合わせて簡単に保護設定**

Webシステムのトップページ配下すべてのファイルを保護する、あるいは営業部が利用するフォルダ内のファイルだけ保護する、など運用しているWebシステムのサイト構成に合わせた保護設定が簡単に行えます。設定後にAWPサーバ側で自動的に暗号化される仕組みのため、運用もスムーズです。



※どのカテゴリのファイルを保護するのか管理画面で簡単に設定できます。

**5 Webシステムの改変は不要  
導入して即運用**

フィルタ型サーバをそのまま組み合わせる構成のため、今お使いのWebシステムを改変する必要がありません。導入の手間や改変のコストを削減できます。サーバ構築や設定も非常に簡単で、導入してすぐ運用開始できます。

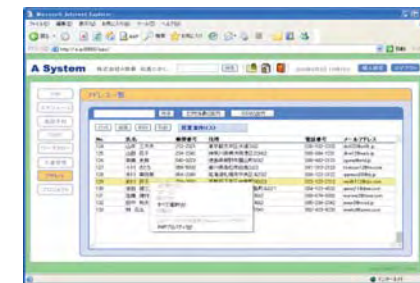


※導入時のサーバ設定は管理画面で一括設定できます。

## 強固なセキュリティ技術で情報漏洩を防止

**ブラウザのメニューやキー操作を制御**

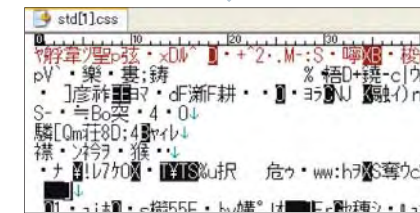
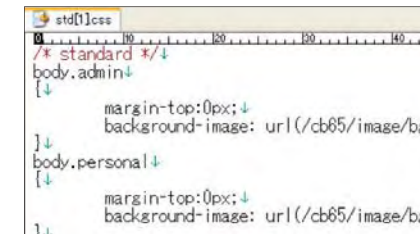
ブラウザのメニューやキー操作を制御し、画面に表示されたデータのコピー/印刷/ダウンロード(保存)などを防止します。



※ブラウザの編集/印刷/保存などのメニューがグレーアウトされ利用できません。

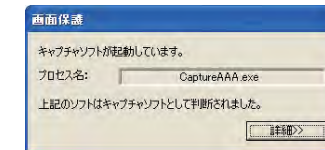
**ブラウザのキャッシュを暗号化**

ブラウザのキャッシュファイルを暗号化することで、二次利用を防止します。



**画面コピーを防止**

画面キャプチャ用ソフト(約4,400種類以上\*)から画面コピーを防止します。 1:2012年5月時点  
※キャプチャ保護機能[特許第4324781号]



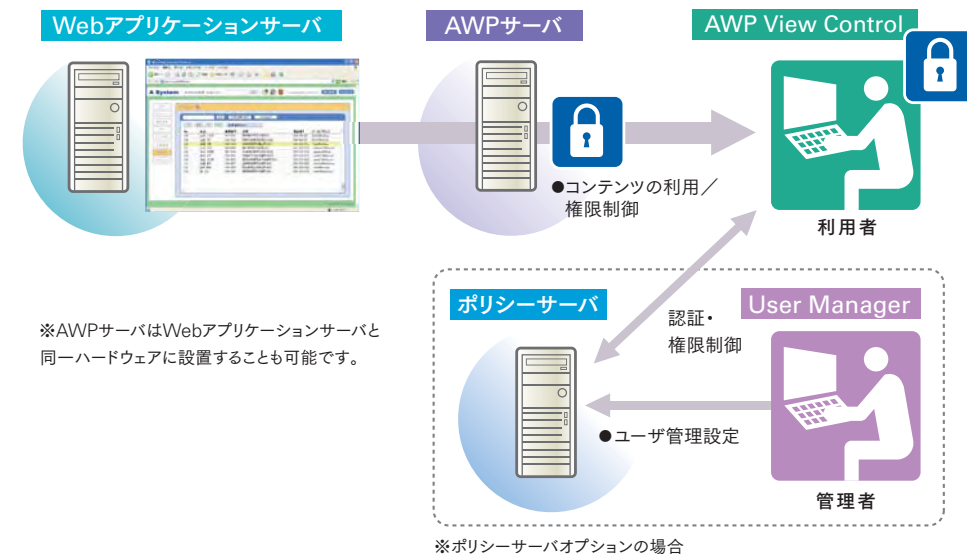
※画面キャプチャソフトが起動されると、画面が非表示になり画面コピーが防止されます。



※PrintScreenキーを押しても無効になります。

## システム構成図

AWPサーバ(フィルタ型サーバ)を、Webアプリケーションサーバと利用者の間に設置する構成です。



※AWPサーバはWebアプリケーションサーバと同一ハードウェアに設置することも可能です。

※ポリシーサーバオプションの場合

## さまざまなWebシステムに導入

■グループウェア/企業ポータルなどの  
情報共有システム  
※国内/海外拠点間を含む

■SFAなどの営業支援システム

■販売管理/会計管理/人事管理など  
基幹システム

■コールセンター/CRMなどの顧客システム

■研究開発データなどの品質情報管理システム

■e-ラーニングなどの社内教育システム

■有料会員向けのサービス提供サイト

■学校ポータルなどの情報伝達システム

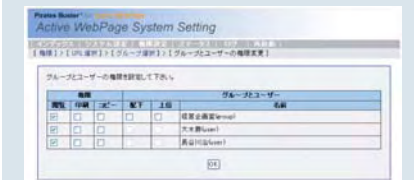


## 便利なオプションも用意

**保護コンテンツの利用権限を  
ユーザ/グループ単位で設定**

[ポリシーサーバオプション]

ユーザ管理機能と連携し、コンテンツに対してユーザ/グループ単位で保護を設定でき、より細やかな利用制御を行えます。



ユーザ管理機能は、Active Directoryとのユーザ連携/認証にも対応しています。

